

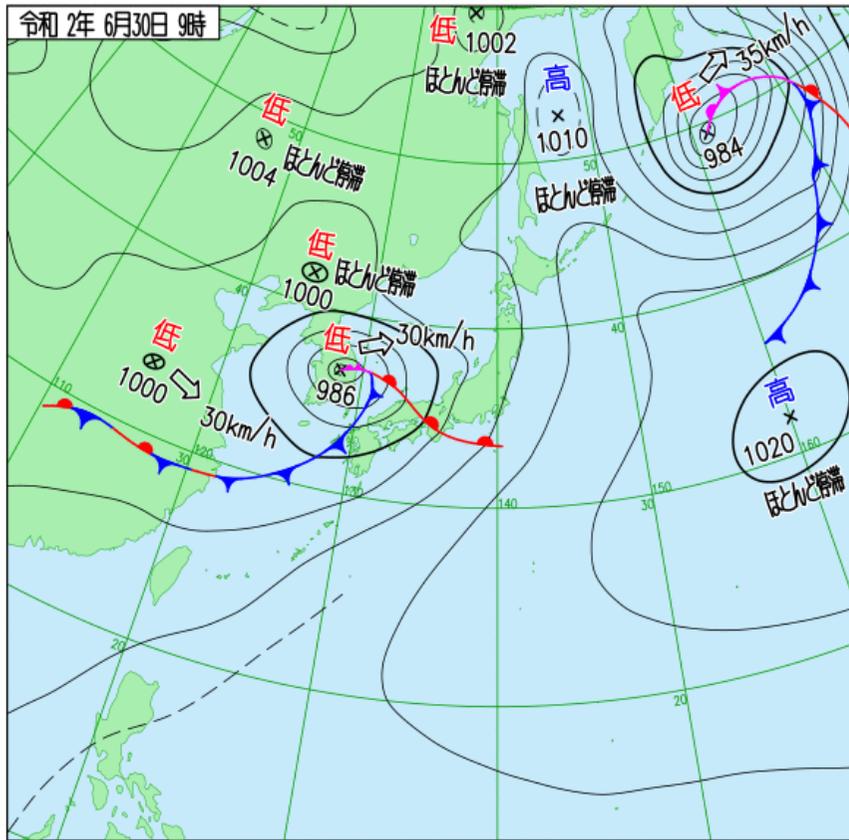
令和2年
低気圧と前線による大雨の見通しについて

6月30日12時現在

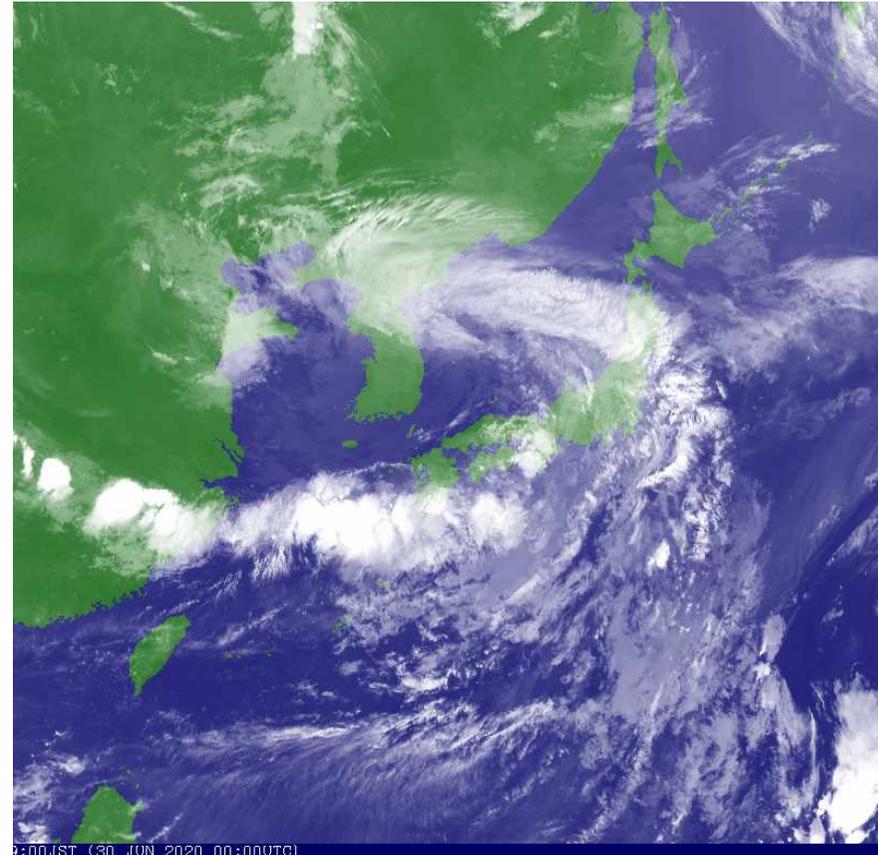
2020年6月30日
静岡地方気象台

6月30日9時現在の状況

6月30日12時現在の資料



地上天気図(6月30日9時)



気象衛星画像(赤外)(6月30日9時)

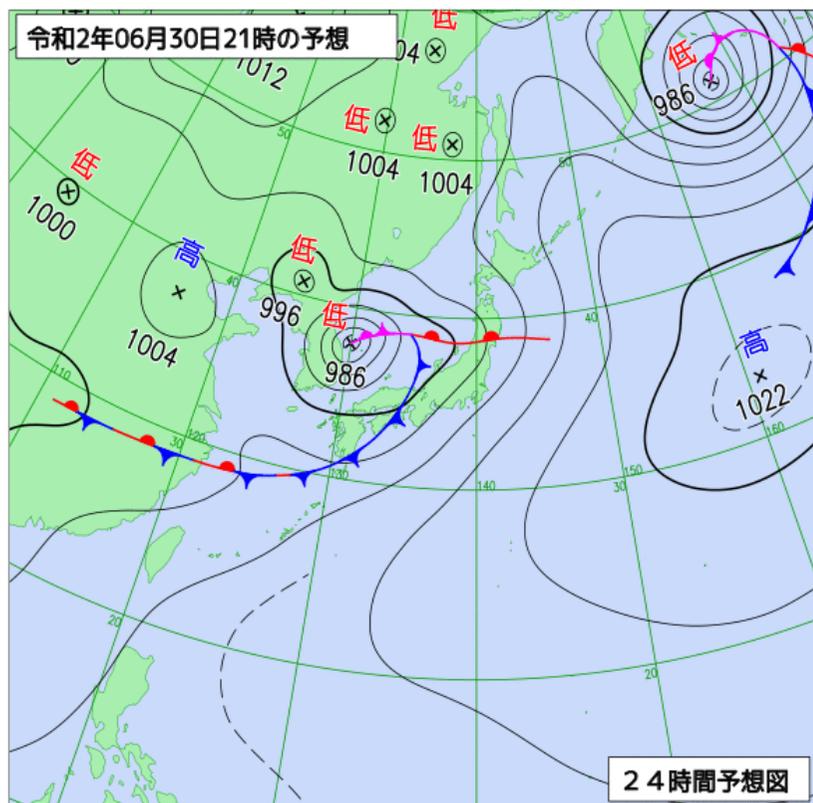
今後の予想を含めた最新の資料をご利用ください。

(天気図：<https://www.ima.go.jp/jp/g3/index.html>)

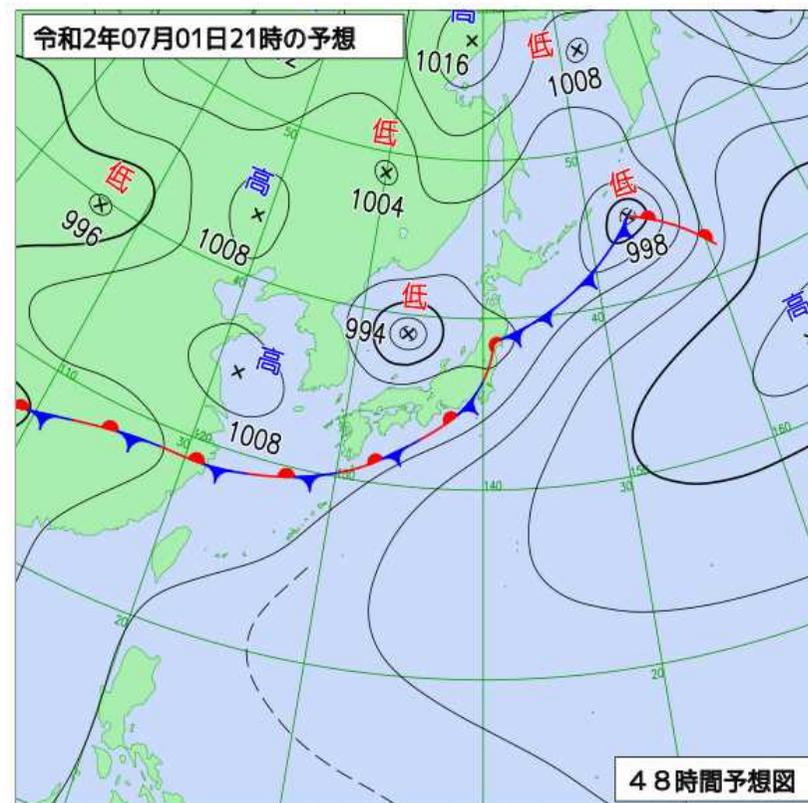
(レーダー：<https://www.ima.go.jp/jp/radnowc/>)

予想天気図

6月30日12時現在の資料



予想天気図(6月30日21時の予想)



予想天気図(7月1日21時の予想)

今後の予想を含めた最新の資料をご利用ください。
(天気図： <https://www.ima.go.jp/jp/g3/index.html>)

警報級・注意報級の現象が予想される期間

6月30日12時現在の資料

今日(30日)

明日(7月1日)

		30日				1日								
		12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	
		昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	
大雨(土砂)														
洪水														
降水量 (ミリ)	静岡県	中部	30	40	60	60	60	70	70	70	25	15	20	25
		西部	30	40	60	60	60	70	70	70	25	15	20	25
		東部	30	40	60	60	60	70	70	70	25	15	25	30
		伊豆	30	40	60	60	60	70	70	70	30	20	25	30
	静岡県	30	40	60	60	60	70	70	70	30	20	25	30	
暴風 (メートル)	静岡県	陸上	6 ↓	12 ↑	12 ↑	12 ↗	12 ↗	12 ↗	10 ↗	10 ↗	10 ↗	10 ↗	10 ↗	
	静岡県	中部	10 ↑	16 ↑	16 ↗	16 ↗	16 ↑	16 ↑	12 ↗	12 ↗	12 ↗	12 ↗	13 ↗	
		西部	10 ↑	16 ↑	16 ↑	16 ↗	16 ↗	16 ↗	12 ↗	12 ↗	12 ↗	12 ↗	13 ↗	
		東部	6 ↑	15 ↑	15 ↑	15 ↑	15 ↑	15 ↑	10 ↗	10 ↗	8 ↗	8 ↗	8 ↗	
		伊豆	8 ↑	16 ↑	16 ↑	16 ↗	16 ↗	16 ↗	14 ↗	12 ↗	13 ↗	13 ↗	14 ↗	
波浪 (メートル)	静岡県	中部	1.5	2	2.5	3	3	3	3	3	3	3	3	
		西部	1.5	2	2.5	3	3	3	3	3	3	3	3	
		東部	1	1	1.5	2	2.5	2.5	3	3	3	3	3	
		伊豆	1.5	2	2.5	3	3	3	3	3	3	3	3	
		相模湾 駿河湾	1.5 1	1.5 1	1.5 1.5	2 2	2.5 2.5	2.5 2.5	3 3	3 3	3 3	3 3	3 3	3 3
雷	静岡県	注	注	注	注	注	注	注	注					

警報級 注意報級

24時間降水量(30日12時~7月1日12時):

中部 400ミリ
西部 400ミリ
東部 400ミリ
伊豆 400ミリ

48時間降水量(30日12時~7月2日12時):

中部 400~550ミリ
西部 400~550ミリ
東部 400~550ミリ
伊豆 400~550ミリ

↓: 北の風 ↗: 北東の風 ←: 東の風 ↘: 南東の風 ↑: 南の風 ↖: 南西の風 →: 西の風 ↙: 北西の風

◎警報級の現象が予想される期間:



◎注意級の現象が予想される期間:



※注意報、警報は、対象となる期間よりも前に数時間のリードタイムをとって発表します。

警報級・注意報級の期間は、実況によって変わります。気象台が発表する最新の気象情報を利用してください。

<県内への影響>

・前線を伴った低気圧が日本海を東北東に進み、静岡県には南から暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動は活発で大気の状態が非常に不安定となる見込みです。

(大雨)

・30日は、昼過ぎから雷を伴い激しい雨となり、夜のはじめ頃から非常に激しい雨が降り、7月1日は昼前にかけて雷を伴い1時間に70ミリの非常に激しい雨の降る所があるでしょう。南西斜面を中心に雨量が多くなり、総雨量は、多いところで400～550ミリに達する見込みです。

(強風・高波)

・30日から7月1日は、海上で南または南西の風が強く、波が高い見込みです。

<防災事項>

・土砂災害、低い土地の浸水に警戒し、河川の増水や氾濫に注意・警戒してください。また、竜巻などの激しい突風、落雷、降ひょうに注意してください。発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には、建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。

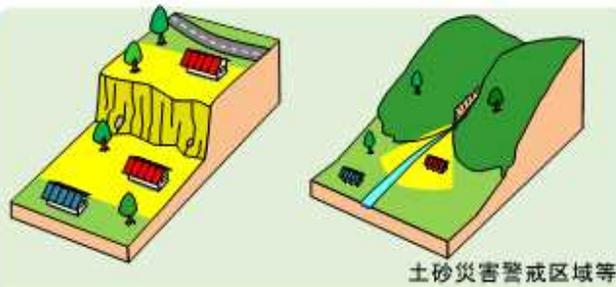
・今後発表する警報、注意報、気象情報、竜巻注意情報などに留意してください。

大雨による災害への備え

- ハザードマップ等により、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の命に危険が及ぶおそれがある場所をあらかじめ確認しましょう。
- 土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度がどこで高まる予測となっているかを「危険度分布」の地図で確認することができます。
- 大雨により命に危険が及ぶおそれがある場所では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

命に危険が及ぶおそれがある場所

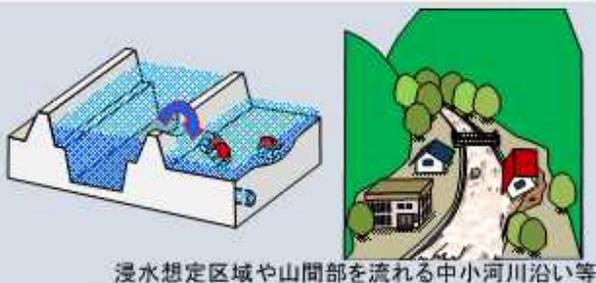
土砂災害



浸水害



洪水災害



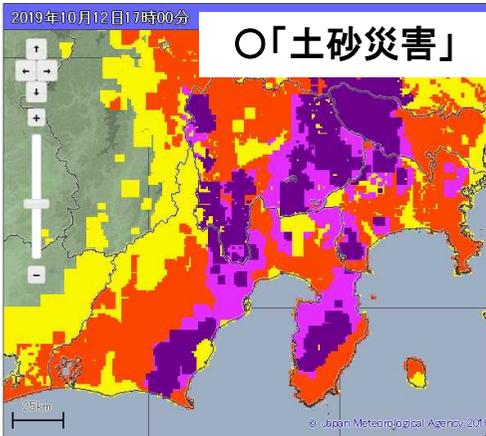
危険度分布



災害の例



大雨・洪水警報の危険度分布 (危険度が高まっている場所を見る)

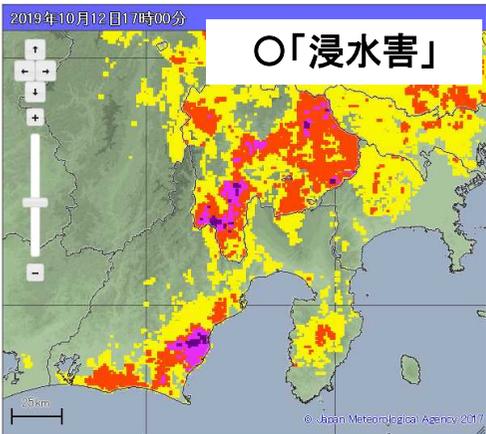


土砂災害警戒情報や大雨警報(土砂災害)等が発表市町内において、どこで危険度が高まっているかを確認する。

大雨警報(土砂災害)の危険度分布



<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>

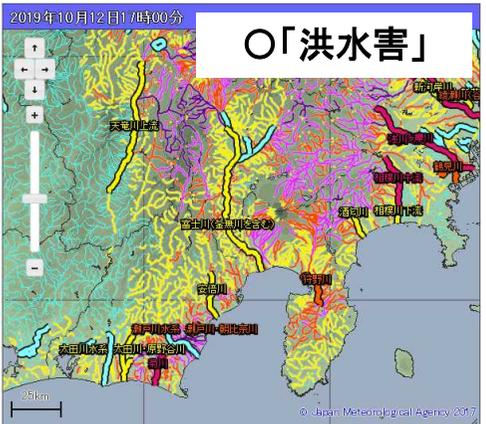


大雨警報(浸水害)等が発表されたときに、発表市町内において、どこで危険度が高まっているかを確認する。

大雨警報(浸水害)の危険度分布



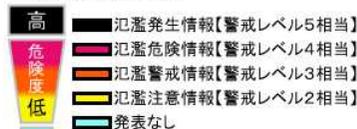
<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>



洪水警報等が発表されたときに、発表市町内において、どこで危険度が高まっているかを確認する。

指定河川洪水予報

〔国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな損害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。〕



洪水警報の危険度分布



<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>



今後の予想を含めた最新の情報（気象庁HP）

- 気象警報・注意報（大雨、洪水、暴風（雪）、波浪、高潮、大雪などによる災害への警戒・注意を呼びかける）
https://www.jma.go.jp/jp/warn/327_table.html

- 危険度分布（どこで土砂災害、浸水害、洪水の危険度が高まると予測されているかを地図上で表示）

土砂災害
浸水害
洪水

<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>
<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>
<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>



気象庁HPのバナーをご利用ください。

- 各地の気象情報（気象概況や大雨の見通し）
<https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>

- 指定河川洪水予報（国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測）
<https://www.jma.go.jp/jp/flood/>



- 土砂災害警戒情報（命に危険が及ぶ土砂災害の発生が切迫したときに嚴重な警戒を呼びかける）
https://www.jma.go.jp/jp/dosha/327_index.html

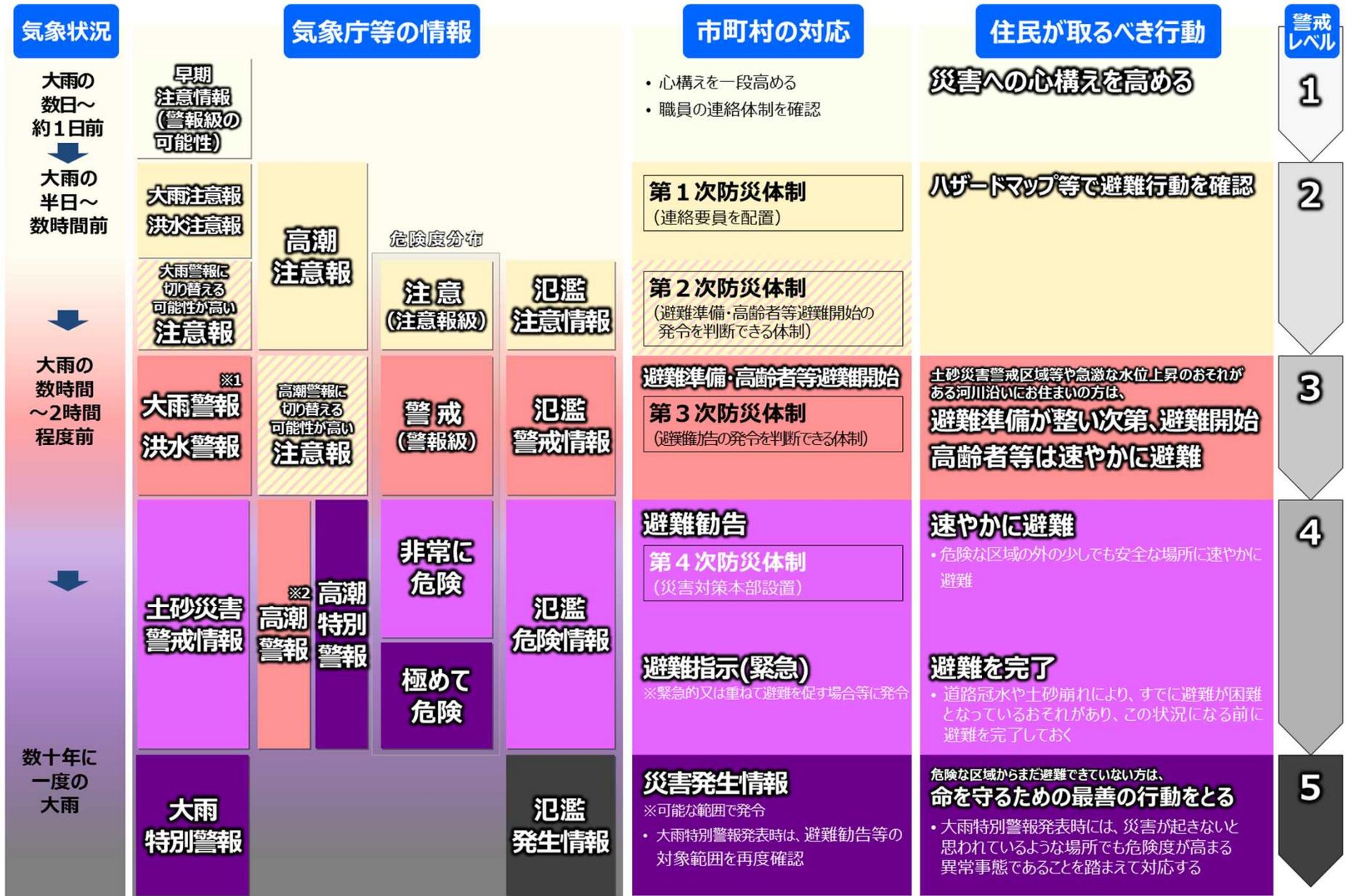
- 最新の気象データ（雨雲の動き、レーダー・ナウキャスト（降水・雷・竜巻）、今後の雨、雨や風の観測データ、衛星画像）
<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>
<https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>
<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html
<https://www.jma.go.jp/jp/gms/>

- 11か国語による防災気象情報の提供
<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>

（お問い合わせ）

静岡地方気象台 防災 054-286-3521

(参考) 段階的に発表される防災気象情報の活用例



※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)に相当します。

※2 暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難勧告(警戒レベル4)に相当します。

(参考)「危険度分布」の通知サービスについて

- ▶ 土砂災害や洪水等からの自主的な避難の判断に役立ていただくために、危険度が高まったときにメールやスマホアプリでお知らせするプッシュ型の通知サービス※1を開始しました。
- ▶ この通知は市町村からの避難勧告等よりも先に届く場合があります。このため、通知を受信したときには、市町村からの避難勧告等を確認するとともに、避難勧告等が発令されていなくても、市町村内のどこで危険度が高まっているかを「危険度分布」の地図や河川の水位情報等で確認することで、自主的な避難の判断※2・3に活用いただけます。



※1住民の主体的な避難の判断を支援する取組の一環として、気象庁の協力のもとで、以下のリンク先の5つの事業者が実施するものです。
(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/ame_push.html)。

※2離れた場所に暮らしている家族に避難を呼びかけることにも活用いただくことができます。

※3避難にあたっては、あらかじめ指定された避難場所へ向かうことにこだわらず、川や崖から少しでも離れた、近くの頑丈な建物の上層階に避難するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。